

農林水産省の事業で「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」が始まったけれど…

どうして農林水産業で環境負荷低減に取り組まなければならないの？

大規模自然災害の増加

地球温暖化による気候変動



農林水産業には環境に**よい多面的機能**がある一方で、**環境に負荷を与えている側面**もあります

農林水産業は**環境の影響を受けやすい**ことに加え、**農林水産業自体が環境に負荷を与えている側面**もあります。このため、日頃の事業活動の中で新たな**環境への負荷が生じないように、7つの基本的な取組を実践することが重要**です。

また、こうした取組を行うことが**消費者の理解**にもつながります。



詳細はこちらから！

クロスコンプライアンスは誰もが取り組める環境負荷低減への「初めの一歩」です。

「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」の7つの基本的な取組とポイント

<p>✓ 適正な施肥</p> <p>例えば…</p> <p>肥料のムダをなくす</p>	<p>✓ 適正な防除</p> <p>農薬を正しく使う</p>	<p>✓ エネルギーの節減</p> <p>省エネを行う</p>	<p>✓ 悪臭・害虫の発生防止</p> <p>臭いや害虫の発生源の管理</p>	<p>✓ 廃棄物の発生抑制 循環利用・適正処分</p> <p>ゴミ削減 資源の有効活用</p>	<p>✓ 生物多様性への悪影響の防止</p> <p>不必要な防除の削減</p>	<p>✓ 環境関係法令の遵守</p> <p>法律を守る等</p>
---	--------------------------------	---------------------------------	---	---	---	----------------------------------

クロスコンプライアンスの実施手続き

令和6年度

農林水産省の補助事業等に申請する際に、「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」チェックシートの各項目を読み、該当する全ての項目にチェックを付けて、事業申請時に提出の上、取組を実践してください。

チェックシートの例（抜粋）



申請時(します)	(1) 適正な施肥
<input checked="" type="checkbox"/>	① 肥料を適正に保管
<input checked="" type="checkbox"/>	② 肥料の使用状況等の記録・保存に努める
<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作物特性やデータに基づく施肥設計を検討
<input checked="" type="checkbox"/>	④ 有機物の適正な施用による土づくりを検討

令和7年度以降

取組を実践した上で、事業報告時にもチェックシートを提出してください。また、報告内容について、実施状況の確認を行います。

(実施方法などは検討中です。)

お問合せ先

北陸農政局新潟県拠点

(直通) 025-228-5216